



小諸高等学校書道部

私たち書道部では寒さも厳しい1月から新年度にむけての活動が始まります。7月の野岸祭にむけ、1・2年生のみの活動ではありますが、臨書作品〔古典とよばれる作品の良さを自ら追体験をして作品としてまとめる学習〕を中心に各自最低でも一点は仕上げるようにしています。



野岸祭 展示作品



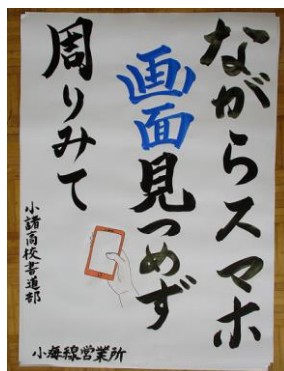
野岸祭 書道パフォーマンスによる作品

4月になり新入生を迎えると本格的に活動するようになります。臨書作品も含め、部員は、「学年の数字+1点」の出品を目標にします。臨書以外の作品は、書道においては、〔創作作品〕と呼んでいます。自分の好きな語句・ことわざや俳句・短歌等さまざまなジャンルから選びます。

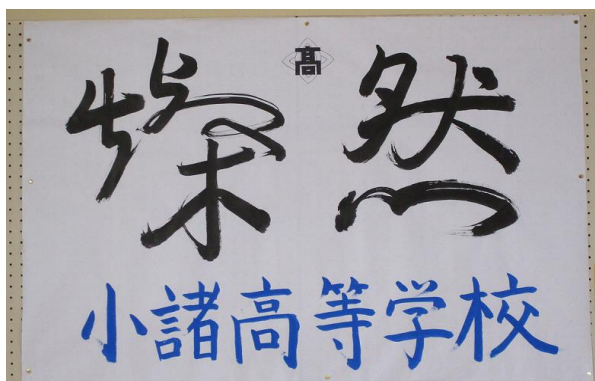
7月からは秋に実施される長野県高校書道展にむけて作品制作を進めることになります。ここでも主として臨書作品を一点出品することにします。野岸祭に出品したのとは違った書体・ジャンルのものに取り組みます。別の古典の良さに触れることにより、さらに表現のレベルアップが図られます。



JR東日本よりの依頼で乗車マナーの標語を揮毫 中込駅構内等に掲示される。



冬の12月には東信地区の高校書道展が行われています。県の高校書道展で取り組んだ古典とは違ったものに取り組みます。ここでの作品づくりは次の年度へのステップになります。作品の構成の仕方や墨の使い方等を学んでいきます。



東信高校書道展における共同作品